



大津労働基準監督署  
安全衛生課 労働基準監督官  
山下 莉歩  
令和2年採用  
労働基準監督官  
B区分（理工系）

### 01 労働基準監督官を志望した理由

公務員試験は文系出身者が主に受験するものというイメージがあり、大学の一般教養で法律系を全く履修していなかった私にとってハードルが高かったのですが、公務員の中でも理系区分で受けられる業種があることを知り、理系出身者も活躍の場があるのだと親近感を持つことができ、労働基準監督官を志望しました。

### 02 滋賀局の魅力

滋賀県出身で地元へ愛着があり、地元で働きたいと思いました。局内異動ではどこに異動になっても引越しが不要というところは滋賀局の大きな魅力だと思います。また、比較的小規模な局であるため、職員同士の顔・名前・人柄がわかりやすく、職員間の距離が近くなれることも滋賀局の特徴だと思います。

様々な事案に出会う中で、進め方に困ったり、適用法令が分からなかったりすると皆さんが資料で該当箇所を示しながら丁寧に教えてくださるので、安心して日々の業務に向き合うことができます。

### 03 理系の知識を業務に活かした経験

ドラフトチャンバー等、大学時代に実験室で使用していたものの名前が出たときは、相手の方の話が理解しやすかったです。

化学物質を作業に利用している会社も多くあるので、化学系の適用法令を理解するために日々勉強ですが、化学式を見聞きしても、あまり抵抗を感じないので、理系で良かったと感じました。

### 04 筆記・面接試験対策

筆記試験は、出題割合が高い科目を特に重点的に勉強し、苦手な科目は問題が解けるようになるまで、問題集を何周も解きました。理系科目については、高校の教科書なども使用しながら対策していました。

面接試験は数をこなすことと自己分析が大事だと思います。

就職活動で、民間企業も公務員試験と並行して受けていたので、民間企業の面接が労働基準監督官の面接対策に繋がっていたと思います。

### 05 理系の学生へのメッセージ

労働基準監督官と聞くと、法律に関する授業が必修ではない理系の方は不安に思われるかもしれませんが、研修などを通して知識を習得できますし、丁寧にサポートして下さる先輩方ばかりなので、ぜひ専門職試験では労働基準監督官を選択していただきたいです。

臨検、安全衛生、災害調査など理系に関する知識を活かせる場が必ずどこかであるはずです。

滋賀局で一緒に仕事ができる日を楽しみにしております。